

利用者（高齢者、障害者等）の意見

基本構想は、高齢者、身体障害者、住民の代表、鉄道、道路、交通安全等の事業者、学識経験者などの参画を得て「JR河内磐船駅・京阪河内森駅周辺地区バリアフリー推進連絡協議会」を設置し策定しました。

協議会では、高齢者、身体障害者、妊産婦を対象として、バリアフリー整備の意向を把握するためにアンケート調査を行いました。また、障害者団体等の協力により、直接参加によるバリアフリー実態点検を目的としたタウンウォッチングを行い、利用者の意見反映に努めています。

1. 当地区のバリアフリー整備に関する意向調査

(1) 実施概要

- ・対象者 JR河内磐船駅・京阪河内森駅から概ね1km以内に居住する65歳以上の高齢者、身体障害者、妊産婦
- ・方法 郵送配付、郵送回収方式によるアンケート調査
- ・期間 平成13年9月8日～9月16日

表14 回収状況

調査対象者	有効配付票数	有効回収票数	回収率(%)	備考
高齢者	1,550	725	46.77	平成13年8月現在、65歳以上
障害者	299	134	44.82	平成13年4月現在、身体障害者手帳発給者
妊産婦	147	69	46.94	平成12年4月～平成13年3月の妊婦届出者
合計	1,996	928	46.49	

(2) 調査結果概要

道路の利用しやすさ

- 最寄り駅やバス停までの道路について、高齢者、障害者、妊産婦ともに満足度は50%を上回っています。
- 高齢者、障害者、妊産婦ともに、幅員や連続性、段差などの歩道の問題があげられています。

京阪バスの利用

- 1割弱の人が週の半数前後京阪バスを利用していますが、乗り降りのしやすさについて障害者や妊産婦の満足度は低くなっています。
- 段差の問題は共通であり、障害者や妊産婦では車いすやベビーカーの利用が困難であるなど、車両の構造上の問題があげられています。

電車の利用

- 両駅ともに障害者（なかでも車いす利用者） 妊産婦について満足度が低くなっています。
- 駅舎の移動で困ることとして、エスカレーターやエレベーターの未整備が上げられています。JR河内磐船駅の方が評価が低いことについて、両駅ともにエレベーターは未整備のなかで京阪河内森駅ではエスカレーターが整備されており、この違いが評価の差につながっていると思われます。
- エレベーターについて、車いす利用者や妊産婦をはじめ、誰にもやさしい設備として整備が求められています。
- 駅で情報を得る際に困ることでは、券売機、路線図や料金表が利用しにくいといった問題が上げられています。
- 妊産婦が駅を利用する際に困ることでは、3割弱の人は「子どもとの外出時に同伴者がいない」こともあり、子どもと入れるトイレ、おむつ換えの場所、授乳場所がないことへの問題が上げられています。
- 駅のトイレ利用で困ることでは、「狭い」「腰掛け式の便器がない」「段差がある」といった問題が上げられています。妊産婦や車いす利用者をはじめ、誰にも利用しやすいトイレの整備が求められています。

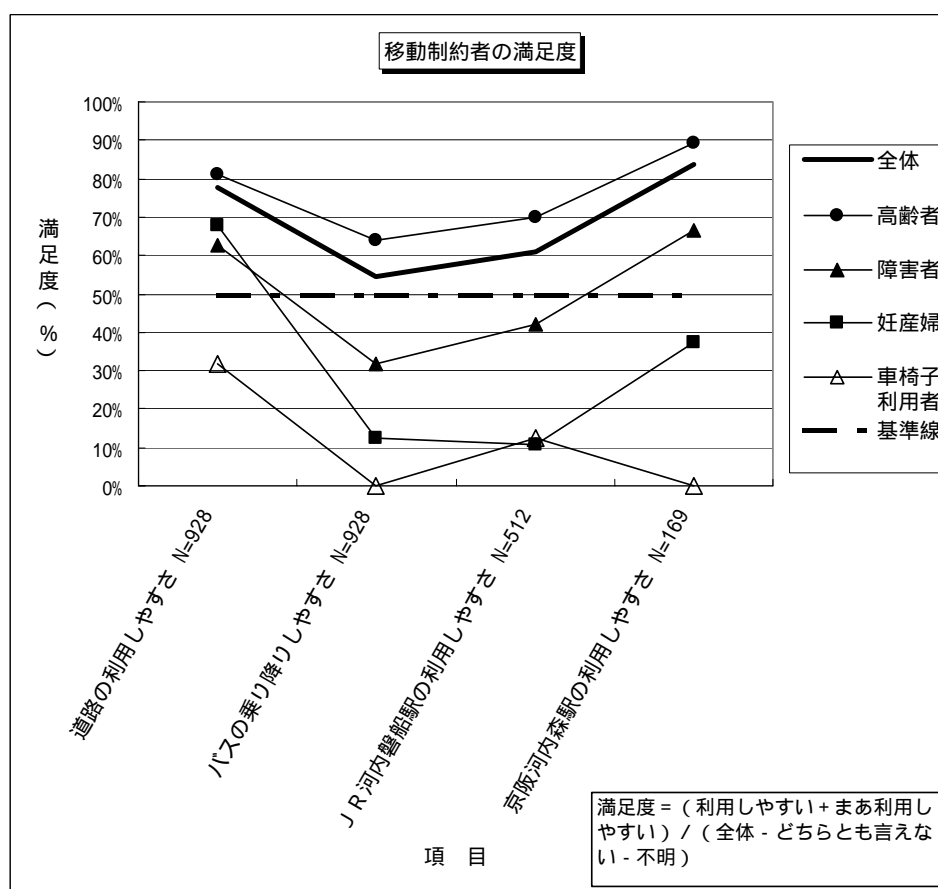


図9 移動制約者の満足度

自由意見

- バリアフリー整備の自由意見欄には、全体で 222 名の意見がありました。
- そのうち道路についての記述は、約半数の 105 件（高齢者 80 件、障害者 14 件、妊産婦 11 件）となっています。
- その中で最も多かったのは「JR～京阪の乗り換え経路」、「JR南北通路の階段」についてであり、バリアフリー上の問題点が利用者から寄せられています。
- 駅については、障害者や妊産婦ではエレベーター、エスカレーター整備についてが最も多く、JR河内磐船駅では、駅南北の連絡や北改札口の整備が続いています。

表 15 自由意見の分類と件数

分類	区分	件数			
		高齢者	障害者	妊産婦	合計
道路について	JR～京阪への乗り換え経路	26	1	1	28
	JR南北通路の階段	17	2	3	22
	歩道整備	9	2	3	14
	信号機の設置	3			3
	その他	25	9	4	38
	小計	80	14	11	105
京阪バスについて		4	2		6
JR河内磐船駅について	エレベーター、エスカレーター整備	9	10	12	31
	駅南北の連絡、北改札口の整備	24	3	2	29
	券売機	4	1		5
	その他	3	4	1	8
	小計	40	18	15	73
京阪河内森駅について	エレベーター、エスカレーター整備	4		2	6
	その他	3			3
	小計	7		2	9
駅全体について	エレベーター、エスカレーター整備	3	1	7	11
	トイレ	1	3		4
	券売機	4			4
	その他	5	1		6
	小計	13	5	7	25
その他		3		1	4
合計		147	39	36	222

2. 直接参加によるバリアフリー実態点検調査

(1) 実施概要

事前説明会

- ・日 時 平成13年10月19日(金) 9:30~12:00
- ・参加者 55名
調査員16名、介助者6名、ヒアリングスタッフ14名、協議会委員・事務局等19名
- ・内 容 本調査の主旨説明
調査員の日常生活の行動範囲やバリアフリーに関するヒアリング調査

タウンウォッチング調査

- ・日 時 平成13年10月26日(金) 9:30~16:00
- ・参加者 85名
調査員19名(肢体不自由者3名、視覚障害者3名、聴覚障害者2名、高齢者3名、子ども連れ1名、疑似体験者7名)
介助者9名、ヒアリングスタッフ等25名、協議会委員・事務局等32名
- ・内 容 午前: 現地を3コース(ショートコース、ロングコース、疑似体験コース)に別れ、JR河内磐船駅、京阪河内森駅、周辺道路を調査員と歩く
随時気づいたことをヒアリングスタッフに告げ、記録
午後: 各コースに別れ、KJ法による問題箇所の確認とバリアの内容の把握



森南15号線の点検



手動車いすによる歩道の点検



電動車いすによる迂回路の点検



疑似体験による点検



問題箇所の確認



コース別の発表

(2) 調査結果

特定旅客施設

）JR河内磐船駅

各ホームへの段差の多さや、車いすで利用可能な便所がないことが問題とされています。視覚障害者からは誘導ブロックが不完全なこと、聴覚障害者からは列車の入線情報が得られないこと等の意見がありました。また、券売機等の使いにくさやわかりにくさについても問題となっています。

表 16 JR河内磐船駅の現状と主要意見

項目	現状	主要意見	
各ホームへの アクセス	階段のみ	車いす利用者	おぶられて上り下りしなければならない ステッピングカー使用の場合は、 時間がかかりすぎる
		子ども連れ・聴 覚障害者	エレベーター、エスカレーターがほしい
		高齢者	ステッピングカーでは時間がかかり、多 くの人の通行を妨げることにな る 地下通路は暗く、階段が見にくい 緩やかな階段に
車いすで 使用可能な便所	なし	車いす利用者	車いす用トイレがほしい
		子ども連れ	ベビーベットがほしい
		視覚障害者	段差を解消してほしい
誘導ブロック	一部あり	視覚障害者	床材と誘導ブロックの材質が同じ で、白杖で叩いても分からない 列車乗降部に誘導ブロックがほしい
券売機等の 使いやすさ	文字盤が見にくい 車いす対応なし	車いす利用者・ 高齢者	太陽光が反射して見にくい
		車いす利用者	手が届きにくい
		視覚障害者	点字が小さく分かりにくい 音声案内がほしい
		聴覚障害者	窓の形状が悪くて口読しにくい
ホーム列車案内等	音声のみ	聴覚障害者	列車が近づいていることが分か らない(文字で知らせてほしい)
待合室	なし	-	-

）京阪河内森駅

ホームへのアクセスはエスカレーターや、枚方市駅方面のホームに人的対応のスロープが整備されていますが、エレベーターなどの整備や移動の円滑化の向上について意見がありました。また、車いすで利用可能な便所がないことが問題とされています。JR河内磐船駅と同様に、誘導ブロックや列車の入線情報についてや券売機等についても意見がありました。

表 17 京阪河内森駅の現状と主要意見

項目	現状	主要意見	
各ホームへの アクセス	エスカレーターあり 枚方方面スロープあり（人的対応）	車いす利用者・子ども連れ	エレベーターがほしい
		視覚障害者	階段手すりの最後の一段がない
		聴覚障害者・高齢者	エスカレーターは両方向にほしい
		高齢者	階段中央部にも手すりがほしい
車いすで 使用可能な便所	なし	車いす利用者	車いす用トイレがない 洋式トイレがない
		子ども連れ	ベビーカーで入れるように
		視覚障害者	点字がないため男女の区別が分からない
		高齢者	私市側ホームにトイレがほしい
誘導ブロック	整備済み	車いす利用者	誘導ブロック以外の方法で誘導してほしい
		視覚障害者	線状タイプの間隔が広く歩きにくい ゴム製の方が白杖で叩くと分かりやすい
券売機等の 使いやすさ	車いす対応なし	車いす利用者	ボタンに手が届かない
		視覚障害者	点字が欠けている 音声案内がほしい
ホーム列車案内等	音声のみ	聴覚障害者	災害時には電光表示で知らせてほしい 列車が近づいていることが分からない（文字で知らせてほしい）
待合室	整備済み	車いす利用者	扉の開閉がしにくい 入口に段差がある
		高齢者	私市側にもほしい

特定経路

各特定経路において、以下のような主要意見がありました。

表 18 特定経路等の課題

経路の名称		現 状	主要意見	
特定 経路	A. 森私市線	京阪河内森駅とＪＲ河内磐船駅を結ぶ最短乗り換え経路であり、通勤・通学時に歩行者、自転車利用が多くなっています。	車いす利用者	踏切の段差をなくしてほしい 踏切のレールに車がはまってしま う 道路の縁から落ちそうになる 歩道に段差がある
			高齢者	マンホール周辺に段差を生じている
			視覚障害者	歩道段差には誘導ブロックが必要
			子ども連れ	曲がり角が死角になっている
	B. 森南 15 号線	歩車分離されておらず、幅員も一部狭小となっています。	車いす利用者 子ども連れ	横断側に勾配があって車いすが流れる でこぼこやマンホールの突起が多い
			視覚障害者	道路のでこぼこやマンホールの突起で 白杖がつかずく グレーチングの目が粗い 路肩の水路に転落する
			聴覚障害者	歩車分離してほしい 車止めがわかりにくい ため危険
	C. ｾﾞ R 南駅前 広場	J R 河内磐船駅に面し、車での送迎も多く見られます。	車いす利用者	歩道の舗装や誘導ブロックは振動が大きい 専用の停車スペースがほしい
			視覚障害者	車止めにぶつかる
	D. 森南 17 号線 (J R 線の南北通路)	階段による段差を生じています。	視覚障害者	階段をスロープにしてほしい
	E. 京阪線の北トンネル	J R 河内磐船駅からゆうゆうセンターへの最短経路です (幅員 2.4m、延長 26m)。	聴覚障害者	暗くて狭い トンネル入口に方面表示がほしい
	F. J R 線の西トンネル～ゆうゆうセンター	有効幅員が 3.5m の歩行者専用道路です。	車いす利用者	自転車の通行が多い
聴覚障害者			自転車やバイクに気づかない	
視覚障害者			ゆうゆうセンター前の側溝に蓋が必要	

経路の名称		現 状	主要意見	
サブ 経路	a.京阪線の南 トンネル	段差を生じている特定経路に対して、フラットな迂回路です。 京阪線、JR線のトンネル部分があり、幅員不足の区間もあります。	車いす利用者	段差がある 見通しが悪く、危険である 暗くて側溝に落ちそう
			子ども連れ	出入口のグレーチングの目が粗い
			高齢者	トンネル内は自転車と歩行者を分離する
	b.通 路		車いす利用者 子ども連れ	側溝に蓋が必要 田圃側に転落防止が必要 ベビーカーと車いすがすれ違うのがやっつである
			高齢者	道が細く、溝蓋がない
			c. JR線の西 トンネル	車いす利用者 高齢者

3. 素案の公表と市民意見の募集

(1) 公表及び意見の提出期間

平成14年2月8日～2月20日

(2) 公表の方法

縦覧場所

市役所別館2階都市政策課
市役所本館2階情報公開コーナー
ゆうゆうセンター1階ロビー

市のホームページに素案を掲載

タウンウォッチング参加者に素案を送付

(3) 意見書の提出方法

郵送・FAX・Eメール

(4) 意見書の提出

7通(内タウンウォッチング参加者4通)

(5) 意見書の対応

郵送・FAXの5通は訪問及び電話にて、Eメール2通はメールにより対応